



「日本列島球体模型」と測量用航空機「くにかぜ」初号機

CONTENTS

1. G空間EXPO2025「G空間が織りなす豊かな未来へ」開催報告 2
2. 第16回地理院地図パートナーネットワーク会議を開催 4
3. 「国土交通省リレー講演会」の取組 5
4. 科学技術週間に測量用航空機「くにかぜ」の機内を公開します！ 6
5. 令和6年度国土地理院研究評価委員会を開催 6
6. 「自然災害伝承碑 」ウェブ地図「地理院地図」での公開数 7
7. 2月の報道発表・4月の主な行事予定 7

G空間EXPO2025「G空間が織りなす豊かな未来へ」開催報告

G空間 EXPO2025「G空間が織りなす豊かな未来へ」を1月29日から31日まで東京ビッグサイト(東京都江東区)で会場開催、1月2日から2月7日までオンライン開催しました。国土地理院は、セミナー、施策展示及びGeoアクティビティコンテストを実施しました。

【オープニングセレモニー】

G空間 EXPO は、地理空間情報高度活用社会(G空間社会)の実現に向けて、産学官民連携で開催するイベントです。今回は初めて、東京ビッグサイトにおいて国際宇宙産業展、防災産業展、グリーンインフラ産業展と同時開催しました。

オープニングセレモニーは、4展合同で行われ、G空間 EXPOからは小善真司^{しょうぜんしんじ}内閣官房地理空間情報活用推進室長、風木 淳^{かぜ きじゆん}内閣府宇宙開発戦略推進事務局長、山本悟司^{やまもとさとし}国土地理院長、清水英範^{しみずえいはん}日本測量協会長、山本佳世子^{やまもと かよこ}地理情報システム学会会長が登壇しました。



オープニングセレモニー

【講演・セミナー】

NHK「ブラタモリ」プロデューサーの吉田光志氏^{よしだこうじ}が「旅が10倍楽しくなる!“地図ブラ”の魅力～NHK「ブラタモリ」番組づくりの現場から～」と題し地理院地図も活用しながら講演されました。

国土地理院は「新たな標高基準と3次元地図への期待」と題したセミナーを実施しました。国土地理院から取組の最新状況を報告するとともに、有識者から高度なG空間社会への期待について発表していただきました。関心が高いテーマで、会場は立見が多数出て、活発な質疑応答が行われました。

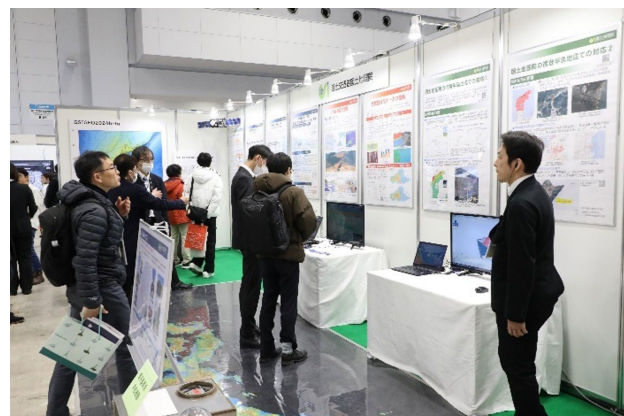


国土地理院セミナー

【国土地理院施策展示】

地理空間情報フォーラムにおいて、国土地理院の施策を紹介する展示を行いました。

今回は、新たな標高体系の整備と電子国土基本図の3次元化をテーマとし、「ジオイドと標高(ジオイド2024 日本とその周辺 解説)」、「全国の標高成果の改定」、「全国変動分布図の活用」、「GNSS衛星の精密暦」、「3次元地図の整備」、「高精度標高データの整備」、「国土地理院の能登半島地震での対応」、「自然災害伝承碑」及び「地図と測量の科学館」についてパネルで紹介しました。また、「ジオイドと標高(ジオイド2024 日本とその周辺)」、「50万分1デジタル標高地形図」、「3次元地図デモデータ」、「能登半島3Dサイト」及び「電子基準点の内蔵機器と模型」を展示し、「国土地理院紹介動画」を上映しました。



国土地理院施策展示ブース

【Geo アクティビティコンテスト】

地理空間情報の利活用に関する様々な「取組」、
「アイデア」、「サービス」などを展示とプレゼンテーションで紹介し、参加者や来場者との交流を通じて、
優良事例の育成・普及、新しいサービスの創出など、
地理空間情報の活用推進を目的とした「Geo アクティビティコンテスト」を国土地理院が主催しています。本コンテストは平成 24(2012) 年から開始し、
今回で 13 回目となりました。

応募いただいた多数の作品の中から選ばれた 15
作品について会場で展示とプレゼンテーションが行われ、
産学官の有識者 8 名で構成する審査委員会
による審査の結果選ばれた受賞作品について表彰
を行いました。受賞作品は表のとおりです。

なお、G 空間 EXPO 公式ウェブサイト
(<https://g-expo.jp/geocon/>) において、作品予
稿をご覧ください。

G空間 EXPO2025 にご参加・ご来場いただ
いた皆様に心より御礼申し上げます。国土地理院は、
今後も地理空間情報の利活用の推進及び普及啓発
に努めてまいります。



Geo アクティビティコンテストに出展された方々



最優秀賞を受賞した Divers Project と山本院長（左）

Geo アクティビティコンテスト受賞作品

(敬称略)

最優秀賞	ダイバーシティ実現バリアフリールート共有アプリ「DiversMap2」	Divers Project
地域貢献賞	急傾斜果樹園におけるスマート農業と被災農地支援～地理空間情報を活用して描く『未来の農業』～	愛媛大学附属高等学校 坂田彩夏 多田伊花 高須賀柚奈 愛媛大学大学院農学研究科 池見孔志
防災減災賞	斜面の健康診断 —AI × G 空間情報で可視化する土砂災害リスク—	立正大学大学院地球環境科学研究科 田中優也
地理教育賞	地理院地図（電子国土 Web）を利用した各時代の海岸線推定 と歴史を再検討—美濃国不破郷の歴史—	関ヶ原町歴史民俗学習館サポータ『不破ふわ塾』（ボランティア団体）代表 木村寛之
オープンデータ活用賞	今ここ何番地？	土地家屋調査士 白土洋介
奨励賞	オープンデータを用いた都市街路樹の抽出に関する研究	明石工業高等専門学校 都市システム工学科 環境工学研究室 廣田敦志・渡部守義
来場者賞	防災カードゲーム「私が来たからもう大丈夫！」	宮崎県立門川高等学校地域防災班

(防災・地理空間情報企画センター)

第16回地理院地図パートナーネットワーク会議を開催

1月29日、第16回地理院地図パートナーネットワーク会議を東京ビッグサイト会議棟（G空間EXPO2025 同時開催）及びオンラインにて開催しました。

■会議の概要

地理院地図パートナーネットワーク (<https://maps.gsi.go.jp/pn/>) は、地理空間情報活用のオープンイノベーションを目指す情報共有・意見交換の場であり、地理院タイルをはじめとする地理空間情報の活用推進のため、国土地理院、受託開発者及びツール提供者が参加しており、令和7年1月現在、105の受託開発者と、76のツール提供者が登録されています。

地理院地図パートナーネットワーク会議は、地理院地図パートナーの情報共有・意見交換の場の1つとして平成26（2014）年から開催しており、今回で16回目になります。



おかたに たかき
岡谷隆基地理空間情報部長による開会挨拶

■第16回会議の概要

第16回会議は、国土地理院主催イベントの1つとして、1月29日に東京ビッグサイト会議棟（G空間EXPO2025 と同時開催）及びオンライン併用によるハイブリッド方式で開催されました。

第1部では地理院地図及び地理空間情報の活用に関する情報共有として、国土地理院地理空間情報部の新井雅史情報普及課長から地理院地図に関する最近の話題について報告を行うとともに、国土交通省政策統括官付地理空間情報課の川井千春氏から不動産情報ライブラリについて、西日本旅客鉄道の名加達矢氏から鉄道インフラマネジメントについて講演いただき、第2部では地理院地図パート

ナーからの活用事例紹介として、3者（オフィス白土 白土洋介氏、産業技術総合研究所 西岡芳晴氏、ESRI ジャパン 神谷貴広氏）から、地理院地図の利用等に関して幅広く紹介いただきました。



国土交通省川井氏による講演の様子

質疑応答・意見交換では、会場の参加者から多くの質問があり、大変盛況のうちに会議は閉会となりました。また、講演内容について、多くの方から「非常に参考になった」等、好意的な感想をいただきました。



会議の様子

■動画配信

当日の会議の様子は、YouTubeの地理院地図パートナーネットワーク会議チャンネルから視聴することができます。（地理院地図パートナーネットワークのウェブサイトからもアクセスできます。）

▼地理院地図パートナーネットワーク会議チャンネル
<https://youtube.com/channel/UCzK71NpA9q5jH04VsKNZisA?si=0BUg1r3LLiuFdEIh>

（地理空間情報部）

「国土交通省リレー講演会」の取組

中国地方測量部は「広島市豪雨災害伝承館（広島県広島市安佐南区）」において、広島地方気象台、中国地方整備局広島西部山系砂防事務所と持ち回りで、「国土交通省リレー講演会」を行っています。

●広島市豪雨災害伝承館

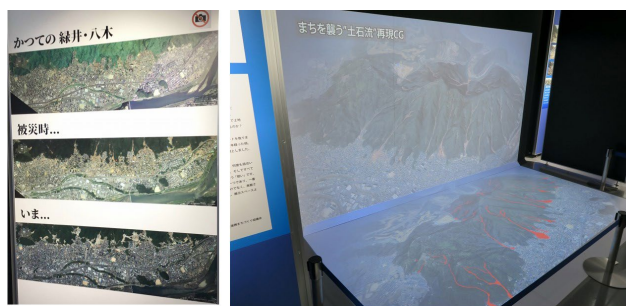
広島市豪雨災害伝承館（以下「伝承館」という。）は、平成26年8月豪雨による災害から得られた教訓及び知識の伝承などを目的に、令和5年9月1日に開設された施設です。



広島市豪雨災害伝承館

伝承館には、土石流の再現映像や被害の様子展示、研修会や講演会を実施するための研修室があり、災害時の指定緊急避難場所にもなっています。また、令和6年9月には、内閣府及び国土交通省による第1回「NIPPON防災資産」の優良認定を受けています。

国土地理院では、被災前後の空中写真や、土砂流出範囲を判読したデータなどの資料を提供し、展示に活かされています。



国土地理院提供資料で作成された展示物

●国土交通省リレー講演会

伝承館にて毎月1回、国土交通省の3機関によるリレー方式の講演会を令和6年2月からスタートし、中国地方測量部は、次の3回を担当しました。

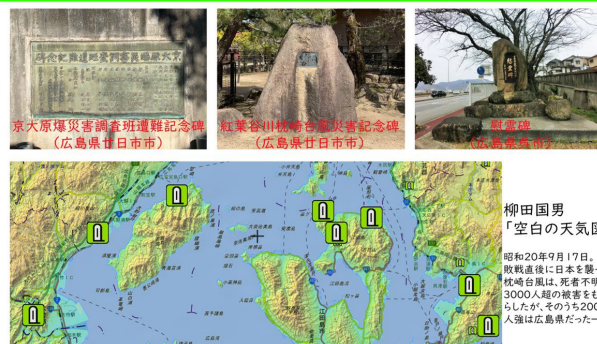
（1）令和6年6月

「自然災害伝承碑～災害の記憶を次の世代へ～」

と題して、^{やまなかまさゆき}山中雅之測量課長から、自然災害伝承碑を地図に掲載したきっかけや、中国地方の主な自然災害伝承碑と災害事例を紹介しました。

枕崎台風に関する自然災害伝承碑

国土地理院



令和6年6月の講演スライド

（2）令和6年12月

「国土地理院の災害対応と防災に関する取組」と題して、^{たかはしひろのり}高橋広典防災情報管理官から、被災地域の空中写真撮影や斜面崩壊域の写真判読、それらの関係機関への提供と公開などを、過去の災害事例を基に紹介しました。

（3）令和7年2月

「防災・地理教育の観点で見る広島市周辺などの地理」と題して、^{といしがわひでゆき}応用地理部 研川英征地理情報処理課長補佐から、高等学校の必修教科目である「地理総合」の観点や土地の成り立ちを踏まえながら、来場者の身近な場所を中心に地理院地図で解説しました。



令和7年2月の講演の様子

中国地方測量部では、今後も地元関係機関と協力して地域防災に貢献できるよう、取り組みを継続してまいります。

（中国地方測量部）

科学技術週間に測量用航空機「くにかぜ」の機内を公開します!

国土地理院では、「科学技術週間※」に施設を一般公開しています。

今年は、地図と測量の科学館（茨城県つくば市）において、4月15日（火）と4月17日（木）に測量用航空機「くにかぜ」の機内を公開します。

普段は入ることができない機内を見学することができますので、この機会にぜひお越しください。



機内公開の様子

※科学技術週間は、科学技術について広く一般の方々に理解と関心を深めていただき、日本の科学技術の振興を図ることを目的として昭和 35 年 2 月に制定されました。全国の各機関では、おもにこの期間に各種科学技術に関するイベントなどを実施しています。

（総務部）

令和 6 年度国土地理院研究評価委員会を開催

令和 6 年度国土地理院研究評価委員会（委員長：島津 弘^{しまづひろし} 立正大学教授）を、2 月 18 日に関東地方測量部（東京都千代田区）において開催しました。

今回の委員会では、令和 6 年度に終了する特別研究課題「災害に強い位置情報の基盤（国家座標）構築のための宇宙測地技術の高度化に関する研究」の終了時評価と、令和元年度から令和 5 年度までの「国土地理院研究開発基本計画」の事後評価が行われました。

特別研究課題については「様々な成果があげられており、当初の目標を十二分に達成したと認められる。今後はさらに研究を継続・進展させることが重要である。」との評価を受けました。

また、研究開発基本計画の事後評価については「全ての基本的課題について目標を達成されたと認められる。」との評価を受けました。



委員会の様子

本委員会の詳細は以下の URL をご覧ください。

https://www.gsi.go.jp/kikakuchousei/R6_kenkyuhyouka.html

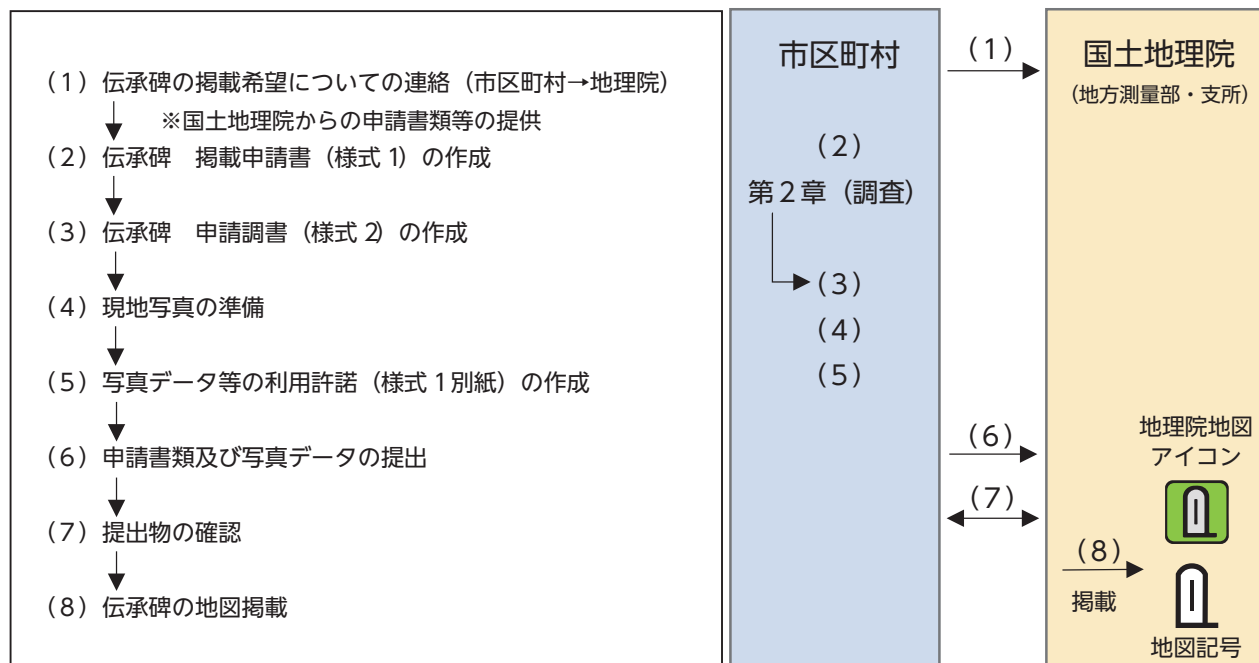
（企画部）

47	都道府県	649	市区町村	2269	基
----	------	-----	------	------	---

詳細については、自然災害伝承碑のページ (<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi>) をご覧ください。

【市区町村の担当者の皆様へ】 自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は「自然災害伝承碑に係る調査業務 実施の手引き 第6版 (令和6年3月)」
(https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html) をご覧ください。

2月の報道発表

3日	令和6年度第2回 測量行政懇談会 流通・活用制度部会の開催	防災・地理空間情報企画センター
10日	令和7年1月の地殻変動	測地観測センター 地理地殻活動研究センター

報道の内容は、国土地理院ホームページ> 2025年 報道発表資料一覧

(<https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2025.html>) をご覧ください。

4月の主な行事予定

3/18～6/22	地図と測量の科学館 企画展「日本の地形を知ろう ―地図から学ぶ―」
-----------	--------------------------------------

国土地理院広報は、
国土地理院ホームページ> 広報誌> 国土地理院広報
(<https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/>) に掲載しています。

発行 国土交通省国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
TEL 029-864-6255
FAX 029-864-6441

連絡先：総務部広報広聴室
国土地理院ホームページ
<https://www.gsi.go.jp/>